

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、『あつぎこどもの森公園』において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である『あつぎこどもの森公園』の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻83号

写真 諏訪部晶・吉田文雄・ナカノジュンゴ・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

湿地の生き物を調べよう



2023年8月19日(土)

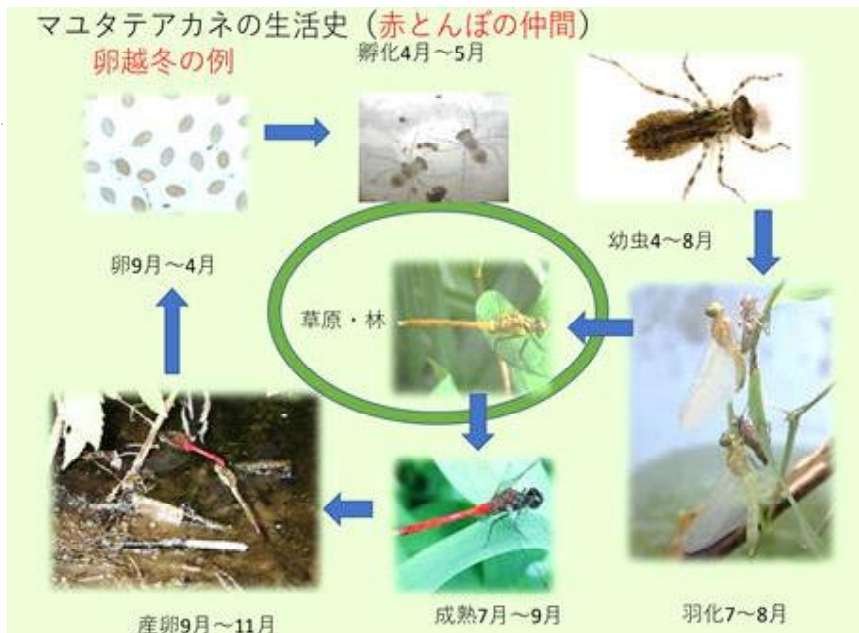
主催 **あつぎこどもの森クラブ**

このパンフレットのバックナンバーは右QRコードからダウンロードできます
<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>



水辺の生き物

トンボ目、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ・・・



オオシオカラトンボ



シオカラトンボ

コウチュウ目：ゲンゴロウ類,ガムシ類,ホタル類,ソウムシ類・・・



コシマゲンゴロウ



コガムシ



コガシラミズムシ

カメムシ目：コオイムシ類、アメンボ類、マルミズムシ類・・・



コオイムシ



マツモムシ



ヒメイトアメンボ



マルミズムシ

ハエ目：ガガンボ類,ミズアブ類、アブ類、ユスリカ類・・・



キリウジガガンボ



コガタノミズアブ



ユスリカ類

両生類：アカハライモリ、カエル類



アカハライモリ



ニホンアマガエル



ヤマアカガエル



は虫類：ヘビ類、カメ類



ヒバカリ



ニホンマムシ

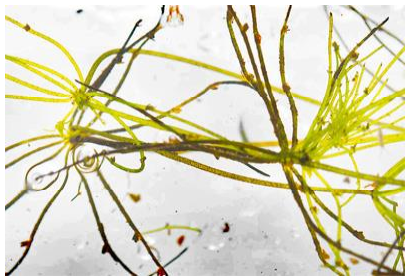


ヤマカガシ

最近のこどもの森公園 8月12日

植物

藻類



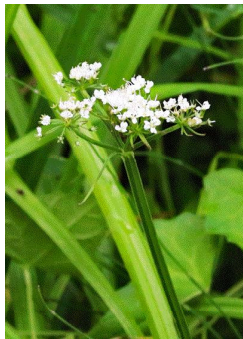
シャジクモ



イトトリゲモ



オモダカ



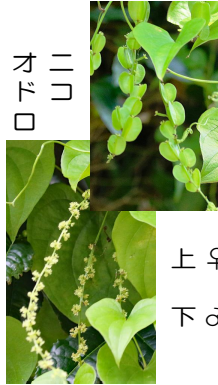
セリ



コゴメガヤツリ



コガマ



オニドコロ

上♀
下♂



オトギリソウ



ヤブミョウガ



キツネノマゴ



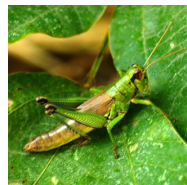
コモチシダ

昆虫

バッタ類



ハネナガイナゴ



ヤマトフキバッタ



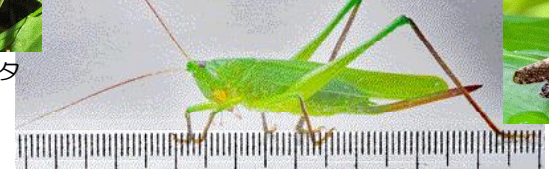
オンブバッタ



ショウリョウバッタ



クルマバッタ



クサキリ



イボバッタ

蝶・蛾



ギンツバメ



ヒロヘリ
アオイラガ



ウスバキトンボ

カメムシ類



エビイロカメムシ 成虫



エビイロカメムシ幼虫



キボシスズメバチ



ワキグロサマノミダマシ

夜間に円網を張る。昼間は網をたたんで葉陰でじっとしている。

さつまの実(ハゼノキ)の形が似ていることからの命名。

活動の記録

くぬぎの丘 バッタ類モニタリング



今年の第2回目は8月12日に行いました。
 方法は、設定したラインを一定方向に進みながら捕獲したバッタ目を記録します。記録した虫は放します。
 調査コース
 ライン1 強度の草刈り域 前回反省からクヌギの木を境にA,Bに分けることにしました。
 ライン2 3 草の高刈り場所です。

この日の結果は下の表です。

種名	ライン1A	ライン1B	ライン2	ライン3
ヒナバッタ	16	2		2
ショウリョウバッタ	1		5	1
オンブバッタ	3	2	2	2
クルマバッタ	2	1	2	1
クルマバッタモドキ	4	2		
ツチイナゴ	1		6	10
ショウリョウバッタモドキ			13	25
クサキリ			1	
ササキリ	3			
カンタン				3

環境の指標として大事な種は、クルマバッタ、ショウリョウバッタモドキ、オナガササキリと考えています。

今回は翅の伸びていない幼虫が多くきちんと同定できませんでしたが、概ね良好と判断できました。10月まで、月1回の予定で続けます。興味のある方は参加してください。



こどもの森ガイドウォーク（自然観察）原則毎月第3土曜日

原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

管理棟集合 参加無料となたでも参加できます。 開始時間要確認

4月15日	雑木林の春	11月18日	みのりの秋
5月20日	新緑の空中回廊を歩く	12月16日	生き物の冬越し
6月17日	木の実を見つけよう	2024年	
7月15日	木もれ日の公園を歩く	1月20日	冬の野鳥
8月19日	湿地の生き物を調べる	2月24日	冬芽とコケ
9月16日	草原の虫たち	3月16日	春の兆し
10月21日	秋の花		



植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。
 毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。(入会はいつでも受付けています)

いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜14時 ~16時



雨粒の中の景色